

【評価実施概要】

事業所番号	170401772		
法人名	日本体育施設株式会社		
事業所名	グループホームやまのて		
所在地	札幌市西区山の手6条7丁目2-17 (電話)011-614-1343		
評価機関名	NPO法人福祉サービス評価機構Kネット		
所在地	札幌市中央区南1条西5丁目7 愛生館ビル601B		
訪問調査日	平成21年2月11日	評価確定日	平成21年3月1日

【情報提供票より】(21年1月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 18年 3月 27日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤14人, 非常勤 2人, 常勤換算1,5人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	3階建ての 1~2 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	20,000 円	
敷 金	有 (家賃の1ヶ月分) 退去時返還			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	400 円
	夕食	667 円	おやつ	100 円
	または1ヶ月当たり 41,000 円			

(4) 利用者の概要 (1月 1日現在)

利用者人数	16 名	男性	7 名	女性	9 名
要介護1	6 名	要介護2	6 名		
要介護3	4 名	要介護4			
要介護5		要支援2			
年齢	平均 81.1 歳	最低	70 歳	最高	93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	清和記念病院 琴似ファミリークリニック 平和リハビリテーション病院 宮の森記念病院 国立病院機構西札幌病院 山の上病院 いしかわ歯科 札幌デンタルクリニック
---------	-----------------------------------------------------------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

幹線道路に面しており、近くには病院・商店・コンビニ・飲食店・スーパーがあり、住宅地ではあるが利便性が高いので家族が面会に訪れやすい。地下には人工芝を張った広い運動スペースがあり、利用者の運動やレクリエーションの場として活用されている。また焼き肉パーティを開催したり、居ながらにして夏の豊平川花火大会が鑑賞できる屋上もある。 職員用に『企業理念と従事者倫理・介護基礎知識・技術のガイドブック』を独自で作成し、ケアの充実を図っている点 外部の体操指導員が週2回、各ユニット1時間づつ体操指導をし利用者の体力向上に効果を上げている点 職員の定着率が高く、利用者との馴染みの関係を構築している点 国家資格取得の為の研修会を開催している点は大変評価できる。今後も質の高いケアの実践と共に、さらに地域住民から支援されるホームであるよう期待したい。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 災害などの緊急時での町内会・近隣住民・関係機関との協力・応援体制については、運営推進会議なども含め協議され、サービスの質の向上に取り組んでいる。評価結果については誰でもが手に取り見られるよう各ユニットの掲示板に掲出されている。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 全職員で自己評価し、スタッフ会議等で話し合い、管理者がまとめ仕上げた。評価結果については誰でもが手に取って見られるよう、各ユニット掲示板に掲出されている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は利用者代表・家族代表・町内会長・老人会長・ふれあいセンター代表・民生委員・近隣老健施設職員・地域包括支援センター職員・施設長・管理者等が参加し2か月に一度定期的開催され、ホームの近況・行事予定と報告・災害対策・研修報告・外国人介護士・虐待等について話し合わせ、運営に活かしている。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 意見箱を設置している。家族の来所時の会話の中から苦情・要望をくみ取り家族の思いを受け入れ、ケアの改善や見直しに反映している。事業所独自の家族アンケートをまとめ運営に活かしている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会に加入している。祭りや清掃等の町内会行事に参加している。また地域の人たちが二胡演奏・バンド演奏・紙芝居等のボランティアで訪問し、入居者と交流している。花壇作りや散歩時は近隣の住民・保育園児と挨拶を交わし絆を深めている。

評価結果（詳細）

NPO法人 福祉サービス評価機構 Kネット

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	基本的介護理念『一人ひとりの個性を尊重し入居者の皆さんが笑顔で健康な毎日を送れる暮らしをサポートします』は家族・来訪者の目にとまる様に、各ユニット入口に掲出されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎日の申し送り時・毎月のケアカンファレンス・ミーティングで理念について話し合い、意思統一をはかっている。介護の基本的実践指針『一つ一つ ゆっくり いっしょに たのしく』をリビングに掲出している。理念や介護方針はいつでも確認できるように携帯している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入している。祭りや清掃等の町内会行事に参加している。また地域の人たちが二胡演奏・バンド演奏・紙芝居等のボランティアで訪問し、入居者と交流している。花壇作りや散歩時は近隣の住民・保育園児と挨拶を交わし絆を深めている。		利用者が町内会の新年会に参加し、地域の方たちがホーム行事に参加するなど、相互訪問の良い関係を構築することを期待する。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員で自己評価し、スタッフ会議等で話し合い、管理者がまとめ仕上げた。評価結果については誰でもが手に取って見られるよう、各ユニットの掲示板に掲出されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は利用者代表・家族代表・町内会長・老人会長・ふれあいセンター代表・民生委員・近隣老健施設職員・地域包括支援センター職員・施設長・管理者等が参加し2か月に一度定期的に開催され、ホームの近況・行事予定と報告・災害対策・研修報告・外国人介護士・虐待等について話し合われている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>グループホーム管理者連絡会・区管理者連絡会には必ず参加し、情報交換をするなど積極的に行政情報を活用している。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>写真入り機関紙「やまのて便り」を発行し、日々の生活状況を報告している。他に月に1度、個別に手紙を出し、家族の訪問時には近況を伝えている。金銭管理については、毎月使用明細と領収書を添付し送付している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見箱を設置している。家族の来所時の会話の中から苦情・要望をくみ取り家族の思いを受け入れ、ケアの改善や見直しに反映している。事業所独自の家族アンケートをまとめ運営に活かしている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の定着率がよいので、なじみの関係と信頼関係を築いている。あえてユニット間で職員1名を数ヵ月間交代し、利用者全員に職員の顔が分かるように配慮している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	積極的に外部研修に参加できるように配慮し、協力医療機関医師による内部研修も行っている。さらに介護福祉士資格取得の為に勉強会も開催している。また介護職員用に事業所独自で『介護に従事する人のためのガイドブック』を作成し、ケアの充実と自己研鑽に役立てている。		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	グループホーム管理者連絡会に加入し、互いに交流する機会を持ち、サービスの質の向上に取り組んでいる。他のグループホームを訪問し意見交換やネットワーク作り・学習会に参加している。職員は交代で外部研修やセミナーに参加している。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	すぐにサービスを開始するのではなく、自宅や病院を訪問し顔なじみになり、その後見学や体験入居で慣れるまでの期間を設けている。安心して入居出来るよう家族ともコミュニケーションを取り支援している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	人生の先輩として、経験や生活の知恵を発揮してもらうための場面設定に配慮・工夫し、利用者中心の生活をしている。レクレーション・運動・散歩・買い物・掃除・調理等一緒に生活する中で、共に学び支え合う関係が築かれている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日常の様子や会話から本人の思い・希望をくみ取り、困難な場合は家族に聞きながら、本人本位の生活ができるよう検討し対応している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>日頃の関わりの中から、より良く暮らすためのニーズや要望を汲み取っている。全職員でモニタリングし、カンファレンス会議で出された課題については、生活援助計画書に記録し、介護計画へ反映している。家族・医師・看護師・職員が情報を共有している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>入居時にケアプランを作成し、その後は毎日の状況を詳細に記録し、一人ひとりの状態に即したケアプランを作成している。急な変化があった場合は、『生活援助計画書』で実情にそった介護計画を作成している。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>日常的な散歩・買い物・通院時の送迎等は本人・家族の状況に応じて、事業所の多機能性を生かし柔軟に対応し、個々の満足度を高めるような支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>年2回の健康診断・月2回の協力病院医師による往診・週1回の看護師の訪問看護。昔からのかかりつけ医には継続して通院出来るよう、職員が付き添い、身体状況等も伝えている。また医師・看護師とは24時間体制で連絡がつく。協力医療機関が近くなのも心強い。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>『重度化や終末期に対する指針』は文書化され説明している。医療機関・家族・全職員で共有しているが、今後も学習し検討を進めることとしている。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>人生の先輩として尊敬の気持ちを忘れずに接している。介護しているのではなく、日常生活の手伝いをしながら共に生活をしていると考え、プライバシー・尊厳を重視した対応を徹底している。また記録等の個人情報については事務所で厳重に管理している。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一日の大まかな流れはあるが、基本的に自由に過ごしている。散歩・買い物・入浴もその時の体調や気分に合わせて、柔軟に対応している。本人の自己決定を優先し、行きたい所へ行けるように支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備・後片付けも一緒にし、同じテーブルを囲み食事をしている。栄養士の指導のもとバランスの取れた食事、新鮮な旬の食材や自然食を取り入れた、季節感のある食事を提供している。利用者に献立についての感想を聞き『食材会議』で話し合いの場を持っている。また食事前には嚥下体操を実施し、誤嚥の防止に役立っている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	体調や要望を聞き、一人ひとりの習慣に合わせた入浴支援をしている。希望があれば入浴は毎日でも可能である。入浴拒否の方にはタイミングを見計らった声かけに工夫している。また浴室暖房も完備し、安心・安全に気分よく入浴出来るよう配慮している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	個々の状況に合わせて食事の準備・調理・配膳・後片付け・掃除・洗濯物たたみ等、利用者の経験・知識を発揮する場面を作り設定している。また感謝の言葉を必ず伝えている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	心身の活性化につながるよう、日常的に近所の商店や公園散策等に出かけている。また外出したがない利用者には仲の良い友人に誘ってもらおう働きかけをし、出来るだけ戸外へ出かけられるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は、玄関のカギを掛けないケアを実践している。鍵をかけない自由な暮らしの大切さを常に家族と話し合い実行している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練は年2回実施している。地域の協力体制については関係機関を含め運営推進会議で検討している。ホーム1階には『AED』を設置し、スプリンクラーの準備も検討している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分・食事は記録している。管理栄養士の指導のもと、自然食品や新鮮食材を使用し、カロリー・栄養バランスに気を配り、食欲が出るよう見た目にも美しく盛り付けしている。また一人ひとりの咀嚼・嚥下状況に合わせた食事を提供している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	カウンターキッチンからはリビング全体が見渡せ、トイレ・浴室・廊下には手すりが効果的に配置されている。日常生活の匂いや音(食事作りや掃除)で五感を刺激し、床暖房・24時間換気装置で、快適で安全な居住空間を作っている。回廊式の廊下は歩行運動に役立っている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	昔から使い慣れた、なじみの家具・調度品・趣味道具を各家庭から持参している。床はクッションフロア張り、転倒時の怪我を少なくするよう配慮した設計になっている。個々の状態に合わせ、心地良く安心して過ごせる様に随所に工夫している。		

 は、重点項目。